

# Boundarist Movement

地球全体への最終覚醒 | 2025.12.18 / Maui, Hawaii

---

## “Resonance opens the way.”

—共鳴が道を開く—

存在へ、行動へ、永遠へ。

マウイ島でオフグリッド生活を送る日本人家族—2023年の火災を経験—が、組織の災害レジリエンス構築を支援しながら、日系アメリカ人と祖先のルーツを再接続します。これはコンサルティングではありません。実体験から生まれたパートナーシップです。

---

## Boundarist とは

**境界に立つ人。**システムが「当たり前」に機能しなくなった瞬間を経験した人。属性ではなく状態。誰でも、いつか境界に立つ。

### 2 つのタイプ

**外のバウンダリスト：**システムから外れた人（住居喪失、失業、孤立など）→「存在していいよ」

**内のバウンダリスト：**システム内で限界を見て、自分の判断で動いた人 →「あなたの判断で動いていい」

### 7 つの依存システム

生存（住居・身体） / 社会（関係・家族） / 経済（収入・信用） / 制度（ビザ・資格） / 情報（通信） / 内面（アイデンティティ） / 時間（世代）

---

## なぜムーブメントか

- 普遍的な問い：「存在していいのか」—誰もが感じる
- 敵がない：分断を生まない
- 止められない：分散型、組織なし
- 実体験から生まれた：マーケティングではない

### 伝染モデル

渡す → 受け取る → 共感する → 動く → また渡す

金色の石鹸ラベルがムーブメントの種。内のバウンダリストへ直接配布。

---

## 実証済みの成果

状況	結果
銀行窓口担当者	住所なしでも口座開設を実現
ホテルマネージャー	規定外の部屋を提供
リゾートスタッフ	組織を超えて施設利用権を提供
ハナの歴史的教会	滞在費支援の合意（2025 年 12 月 24 日）

同条件でも内のバウンダリストの有無で結果が変わる

---

## なぜ私たちか

本土から飛んでくるコンサルタントではありません。ESTA で年の半分はここに滞在しています。

実績	なぜ重要か
2023 年マウイ火災の経験者	電力網が落ちても機能するシステムを構築
2023 年からオフグリッド稼働	72 時間以上の連続稼働を実証済み
歴史的教会との協働	2025 年 12 月に滞在費支援の合意書締結
Forbes JAPAN 寄稿者	日本のビジネスメディアでの信頼性
日本語ネイティブ	日本のパートナーとの言語障壁なし
現地在住の 3 人家族	すべてを自分たちで最初にテスト

---

## 関連サービス

Timeless Eternal Hope : 思想の実践

サービス	内容
Soul Carrier	日系アメリカ人の遺灰を故郷の墓へ届け、ルー ツと再接続
刻む (Pearl Memorial)	レーザー彫刻による存在の証明
守る	3 拠点での災害耐性メモリー保管
支える	オフグリッド自立支援

カタログ: [Catalog-ja.pdf](#) | メディア向け: プレスキット

---

## 創設者

メンバー	役割
佐藤卓也	創設者、技術・戦略・手作り石鯨製作
佐藤美那	共同創設者、マーケティング、レジンアート
糸 (5 歳)	石鯨ヘルパー、家族の核

---

## コンタクト

- 会話を予約: [calendly.com/pearlmemorial/pearlmemorialsession](https://calendly.com/pearlmemorial/pearlmemorialsession)
- メール: [business@satotakuya.jp](mailto:business@satotakuya.jp)
- Instagram: @pearl.memorial
- 私たちの物語: [bit.ly/boundarist](https://bit.ly/boundarist)

---

「これは革命じゃない。目覚めだ。みんな本当はそうしたかった。共鳴を待っていただけ。」

*In memory of Pearl (2007-2025)*

---

## パートナーシップ：業界別の共鳴ポイント

あなたの業界の「内のバウンダリスト」はどこに立っているか

---

### ホテル・リゾート

【境界】 - 「規定ではできません」 vs 「この家族を助けたい」 - マニュアル通りの対応 vs 目の前のゲストを見る - 効率化の圧力 vs ホスピタリティの本質

【共鳴があれば】 - スタッフが自分の判断で動ける文化 - 「本物のストーリー」が生まれる場所に - サステナビリティが言葉でなく行動に

協働の可能性: - ゲスト向けエリアのバックアップ電源 - マーケティング用「レジリエンス対応」認証 - スタッフエンパワーメント研修

---

### コンドミニアム・管理組合

【境界】 - 「予算がない」 vs 「住民の安全を守りたい」 - 前例主義 vs 災害後に変った現実 - 「停電したらどうなる？」という住民の問い

【共鳴があれば】 - 言葉ではなくインフラで安心を提供 - 住民が見て信頼できる具体的な改善 - 「準備できている」と言えるコミュニティ

協働の可能性: - 共用部のバックアップ電源システム - 住民向け教育ワークショップ - 緊急時通信インフラ

---

### 不動産業者・プロパティマネージャー

【境界】 - 売上目標 vs クライアントの本当のニーズ - 「バックアップ電源はある？」という新しい質問 - 差別化したいが方法がわからない

【共鳴があれば】 - レジリエンスを競争優位に転換 - 「オフグリッド対応」をリスティングの特徴に - 安全と品質を優先するバイヤーへの訴求

協働の可能性: - 物件レジリエンス評価 - 「オフグリッド対応」認証プログラム - バイヤー向け教育資料

---

### デベロッパー

【境界】 - コスト削減の圧力 vs 長期的な価値 - 「後付けていい」 vs 「今、基礎に組み込むべき」 - 次の災害の前に準備したい

【共鳴があれば】 - 初日からオフグリッド機能を統合設計 - 技術の進化に適応するシステム - 「未来対応」が売りになる物件

協働の可能性: - 建設前のレジリエンスコンサルティング - 仕様策定 - モデルルームでのデモンストレーション

---

### ツアーオペレーター

【境界】 - 「サステナブル」を謳いたい実態が伴わない - 遠隔地でのインフラ課題 - 本物の体験を提供したい

【共鳴があれば】 - 電力網が届かない場所での電力と接続 - オフグリッドアドベンチャーがプレミアム商品に - 言葉だけでないサステナビリティ

協働の可能性: - 遠隔地の電源ソリューション - 「オフグリッド体験」ツアーパッケージ - Soul Carrier ストーリーを通じた本物の文化接続

---

## 観光局・DMO

【境界】 - 観光促進 vs コミュニティの幸福 - 災害後に変わった訪問者の期待 - プロモーションだけでなく実践が求められる

【共鳴があれば】 - レジリエンスと責任のメッセージを構築 - 負担ではなく強化するツーリズム - サステナブルツーリズムの実践

協働の可能性: - レジリエンスストーリーテリングコンテンツ - コミュニティファーストの観光モデル - 日本人訪問者向け文化プログラム (Soul Carrier)

---

## 建設会社・建築家

【境界】 - クライアントの予算 vs 本当に必要なもの - 「レジリエンスはオプション」という古い考え - この島の未来を建てている責任

【共鳴があれば】 - 後付けではなく、特徴としてのレジリエンス - 正しく設計・設置されたオフグリッドシステム - チームが維持できる知識の共有

協働の可能性: - 技術仕様と研修 - 設置パートナーシップ - メンテナンス知識の移転

---

## 不動産投資家

【境界】 - 短期リターン vs 長期的な資産価値 - 災害リスク = 投資リスクという現実 - ポートフォリオを守りたい

【共鳴があれば】 - 緊急事態の前も、最中も、後もパフォーマンス - サステナビリティがプレミアム機能に - 長期的な安定を優先する投資家との繋がり

協働の可能性: - ポートフォリオレジリエンス監査 - レジリエンスアップグレードの ROI 分析 - プレミアムポジショニング戦略

---

## 地元住民

【境界】 - 「準備しなきゃ」vs「何から始めれば」 - 災害を経験した。次は違う結果にしたい - 外部のコンサルタントは信用できない

【共鳴があれば】 - 隣人として、正直なアドバイス - ここに住んでいる人間からの具体的な知識 - コミュニティで支え合う文化

協働の可能性: - ご近所ワークショップ - コミュニティ機材シェアリング - ローカル知識交換

---

## すべての業界に共通すること

どの業界にも「内のバウンダリスト」がいます。ルール通りにしたくない人。目の前の人を助けたい人。「おかしい」と感じている人。

私たちはその人たちに届けます:「あなたの判断で動いていい」

共鳴があれば、それでいい。なければ、それもいい。響く人に届けばいい。

---

## 求めているもの・協働の進め方

---

### 価値観の一致

- サステナビリティへの本物のコミットメント（マーケティングだけでなく）
  - 地元の文化とコミュニティへの敬意
  - 短期的な利益より長期的な思考
- 

### 実践的なサポート（家族第一）

- **3 人家族向けのファミリーフレンドリーな宿泊施設** — 私たちはユニットとして動きます。これは譲れません。
  - 家族で快適に過ごせる環境（キッチン、洗濯機、子どもが遊べるスペースなど）
  - 施設・リソースへのアクセス
  - 関連チームへの紹介
- 

### 相互利益

私たちが提供	あなたが提供
専門知識と労働力	プラットフォームとリソース
技術的知識	アクセスと紹介
ドキュメンテーションとストーリーテリング	宿泊とロジスティクス

### 一緒に、どちらか単独では作れないものを創造

---

### 特に関心があるもの

- サステナビリティプログラムを持つホテル・リゾート
  - 災害レジリエンスを求めるコンドミニアム
  - 物件差別化を図る不動産業者
  - 新規プロジェクトを建設するデベロッパー
  - サステナブル体験を作るツアーオペレーター
  - ハワイ文化保存に関わる組織
  - **内のバウンダリスト** — 組織の中で正しいことをしたい人
- 

### 協働のプロセス

ステップ	内容	期間
1. 会話	話しましょう。コミットメントなし。探索だけ。	30 分
2. 現地訪問	物件を見ます。家族に会っていただきます。	1-2 時間
3. 提案	明確な範囲。明確な期待。明確な価値。	1 週間

ステップ	内容	期間
4. 協働	リモートコンサルタントではなく、現地のパートナー。	要相談
5. ドキュメンテーション	ストーリーを記録します。サステナビリティの旅を記録。	継続的

## 私たちについて

- 本土から飛んでくるコンサルタントではありません。ESTA で年の半分はここに滞在しています。
- 災害条件下で機能するシステムを構築してきました
- Forbes JAPAN 寄稿者
- 日本語ネイティブー日本市場と文化への架け橋

## 料金についてーゲスト・ホスピタリティモデル

ギフトエコノミーの原則に基づき、法的に確立された枠組み「ゲスト・ホスピタリティ同意書」で運営しています。

### これが意味すること

これはホスピタリティ（おもてなし）の取り決めであり、コンサルティングや雇用ではありません。私たちはあなたのゲストとなり、貢献は以下の性質を持ちます：

- 完全に自発的かつ自己主導
- 義務ではなく、感謝の表現
- 相互の尊重と共有された目的に基づく

### 仕組み

要素	従来のコンサルティング	私たちのホスピタリティモデル
関係性	ベンダーとクライアント	友人とパートナー
義務	契約上の成果物	自発的な貢献
報酬	時間/プロジェクト料金	ホスピタリティという贈り物
期間	固定プロジェクト期間	柔軟、関係性に基づく
成果	定義されたスコープ	有機的、期待を超えることが多い

### 私たちが求めるもの

- 3 人家族向けのファミリーフレンドリーな宿泊施設（家族はユニットとして動きますー譲れません）
- キッチン、洗濯機、娘が遊べるスペース
- 施設と関連チームへのアクセス
- 貢献の仕方を自分たちで決める自由

### あなたが受け取るもの

- 私たちの全専門知識、主体性、労働力
- 災害条件下で磨かれたスキル
- サステナビリティの旅のドキュメンテーションとストーリーテリング
- 取引的な関係ではなく、真のパートナーシップ

## 私たちの実績

このモデルは顕著な成果を生んできました：

パートナー	貢献内容	結果
宗教団体 パーマカルチャーファーム	完全オフグリッドソーラーインフラ 大規模な物件改善	仮設住宅が完全稼働 持続可能なシステムが今も稼働中
ハナの歴史的教会	コミュニティへの統合	正式な滞在支援の合意書締結

## 法的枠組み

ゲスト・ホスピタリティ同意書は以下を目的として設計されています：

- 両当事者を法的に保護
- 適用される法律への準拠を確保
- 友情に基づくホスピタリティであり、雇用ではないことを明確化
- 労働対宿泊の懸念なく、真の貢献を可能に

## ESTA の制約と代替的な取り決め

**重要：**私たちは ESTA（ビザ免除プログラム）で米国を訪問しています。ESTA では、米国内で行った業務に対する報酬を受け取ることができません。そのため、**ゲスト・ホスピタリティモデルが私たちの主要な取り決めです**—雇用ではなく、法的に準拠したホスピタリティです。

従来の料金体系が必要な組織向けには、**日本国内での業務または日本法人を通じて以下のオプションが利用可能です：**

モデル	説明	管轄
プロジェクト料金	定義されたスコープと固定価格	日本での業務
収益シェア	成果ベースの報酬	日本法人経由
ハイブリッド	ホスピタリティ（米国）＋ 料金（日本での業務）	分割

双方にとって意味のあることを話し合しましょう。

## お話ししましょう

- **会話を予約：** [calendly.com/pearlmemorial/pearlmemorialsession](https://calendly.com/pearlmemorial/pearlmemorialsession)
- **メール：** [business@satotakuya.jp](mailto:business@satotakuya.jp)
- **カタログ：** [Catalog-ja.pdf](#)
- **プレスキット：** [press-kit-ja.html](#)
- **Boundarist Movement：** [bit.ly/boundarist](https://bit.ly/boundarist)

「共鳴があれば、それでいい。なければ、それもいい。響く人に届けばいい。」

*In memory of Pearl (2007-2025) | Timeless Eternal Hope / Maui, Hawaii*